

報告書

2023 年 2 月 19 日

所属	山スクール アルパイン1	氏名	舟田 公子
----	--------------	----	-------

(1) 概要

日時	2023/02/11~2023/02/12	場所	大山 (元谷小屋下部)
テーマ	冬山講習会		
講師	大石講師・徳田講師		
目的	雪上技術・積雪期生活技術習得		

(2) 報告事項

講習内容
<p>大阪を前日の10日22時集合出発。大山駐車場へ2時頃到着し、テントを設営して仮眠。11日8:30出発~10:00元谷到着。テント設営、雪洞作り、ツェルト張り。ビーコン操作等のトレーニング。各自、雪洞とツェルトで水作り。夕食の準備。夕食後、ツェルト、雪洞、テントにてビバーク体験就寝。</p> <p>12日8時より講習開始。ビーコン操作、スタンディングアックスヒレイ、雪山での懸垂下降、ワカン、ラッセル練習。12時撤収下山~入浴後帰阪。</p> <p>11日(土)</p> <ul style="list-style-type: none">・テントの設営場所の確保、整地をし設営 2班に分かれ5人ずつで作成。テントの出入り口等を考慮し、整地する。周りに雪のブロックで覆う風除けを作る。斜面の為、高低差が出来ないように雪を削ったり、積んだりして整地をしました。トイレの作成。・雪洞作り。 まず斜面にゾンデ棒で雪の深さを調べ、雪洞が作れそうな場所を探す(2m以上必要) 下に、横に穴を掘り入り口の大きさを決め掘り進めていく。掘っては雪を掻きだす作業を仲間5人で順番に代わりながら続ける。人が2人寝ることが出来る大きさに掘りました。天井を丸くする。・ビーコン操作の訓練 雪崩で人が数人雪の下に埋まってしまったと想定し、まず一人を捜索、発見。マークをした後、2人目を捜索する。・雪で水を作る きれいな雪(表面を削りゴミが少ない雪を選ぶ)を探し、45リットルのごみ袋に一杯分くらい集める。 コッヘルに雪を入れ呼び水を入れて火にかける。雪が解けたら漉してプラティパス等に水を保管する。 調理や飲み水にする際に沸騰させる。・ビバーク体験 ツェルト、シェラフカバーで一晩過ごす。 <p>12日(日)</p> <ul style="list-style-type: none">・ビーコン操作 前日の復習。・スタンディングアックスヒレイ 前回の訓練の確認。どんな状態、場所でも操作出来るよういろんな方向で確認する。・ワカン歩行 固めの雪の為ラッセル練習は出来なかったが、傾斜を探して登ったり下りたりしました。・テント、ツェルトの撤収 テントの周りの雪の壁、トイレ、雪洞を潰してなるべく元の状態に戻す。
<h3>所感・反省点など</h3> <p>天気が良く暖かい2日間で、厳しい寒さの冬の雪山という想定とはかけ離れている状況での訓練でした。以前から憧れていた雪洞泊が実現し、私としては大満足でした。青空で白い大山の山容が美しく感動しました。頂上まで登りたかった。</p>
備考